

第7回地産業振興部会 議事録

記録 清水

日時：H27.01.30 PM17:00~18:15 於小出市庁舎302

出席者：清水・三友・林・星・大林・桜井・大桃・荳澤・橋の諸氏

1. 議題

- 1-1. 市民会議の取りまとめ・市長への提言内容骨子報告
- 1-2. 「食のモニター」取組みの検討
- 1-3. その他

2. 主たる報告及び意見

2-1. 市民会議から市長への提言内容骨子報告（産業部門のみ抜粋）

① 基本目標：「豊かな地域資源を活かした力強い産業を創るまちづくり」

② 主要施策

- (1) まちづくり委員会の今後の進む方向は？
- (2) 魅力ある農林業の振興
- (3) 商工観光業の競争力強化
- (4) 雇用機会の拡充と地域の担い手の確保

何れの施策案も過去の「第1次魚沼市総合計画」からのスライドするもので「地域創生」につながるものに遠く、危機感を感じる提案になっている！
地域於ける自主財源を増す仕組みが掛ける！

2-2. 「食のモニター」に関する意見の要約（昨年「食のモニター」を反省の上に立って！）

① 「食のモニター」制度については、単発（思い付き）で終ることなく、地域産業振興部会の主要テーマで永く継続したら良いのではないかと。 --- まちづくり委員会の知名度も上がる！

② 「食のモニター」が最終目的にならないように、その目的をある程度決めてかかる必要がある！

1) 「食のモニター」の主目的をある程度明確にすべきと考える！

観光に来た人の魚沼土産の大半は地酒に落ち着いて（偏って）いる。「食のモニター」から生まれたモノが、お土産だけでなく、魚沼市の代表的な特産品に成長し、市の活性化と税収に貢献できるものにすことを到達点にしてはどうか！

2) 小規模での街のパン屋さんやお菓子屋さんが、新しいモノに挑戦しようとしても、個人でモニターを募るのにも限界がある？ また、小さなお店が個々に競うより、シャッター通りの一軒を共同で借りて、その場を使って「食のモニター」を実施することも小さなお店を元気づけることにつながる！

3) 「食のモニター」の実施に当っては、商品に魚沼産の食材が使われている！ “最小限のくくり”が必要ではないか！ --- うおぬま特産品の冠をつけるからには？

4) 現段階で「食のモニター」として取上げるものは、パン屋さんの“創作パン” お菓子屋さんの“スイーツ”が候補になるが、“スイーツ”の食材が春先以降になると考えられるから、スタートは“創作パン”に絞った方向が望ましい！

5) “最小限のくくり”を含め、パン屋さんやお菓子屋さんの考えを事前調査してはどうか！

「食のモニター」制度に関わる、上記①～②を考慮しながら方向性を探る。 --- 2/16迄終了

・ “創作パン”に関する事前調査3店ほど --- 担当：林 高志氏

・ “スイーツ”に関する事前調査3店ほど --- 担当：三友 泰彦氏

2-3. その他

① 「食のモニター」制度とは即、直結できないが地域のシルバー世代が健康維持のための畑作業から生まれる新鮮な野菜の流通経路が見つかっていないことから、行き場が無く困っている現状が広神地区に見られる。地域産業振興部会のテーマとして取り上げられないか！

--- 「食のモニター」と分離して検討する。

② 次回開催日：2月17日（火）

③ 次回開催の主テーマ

1) “創作パン”に関する事前調査結果報告 --- 担当：林 高志氏

2) “スイーツ”に関する事前調査結果報告 --- 担当：三友 泰彦氏

3) 「食のモニター」実施計画の策定協議

4) その他

以上